

8

じんつうそくしんざい 陣痛促進剤 (ຢາເລັ່ງເກີດລູກ)



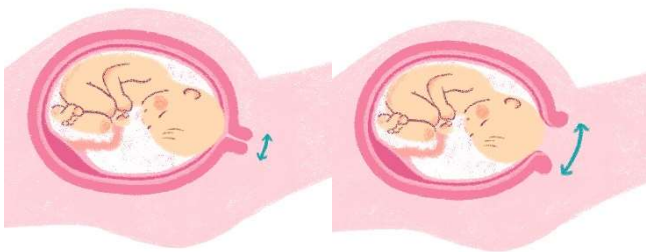
出産のとき、自然に体からプロスタグランジンとオキシトシンというものがでて、それらによって陣痛(子宮の収縮)がおこります。

しかし、陣痛がはじまらなかったり、陣痛がはじまったけどよわかったり、ママや赤ちゃんのために早めに出産した方がよい状況のときは、陣痛促進剤がつかわれます。それは、人工的につくったプロスタグランジンとオキシトシンで、点滴することによって、陣痛がはじまったり、陣痛が強くなったりします。

Q: どのような薬ですか?

A: プロスタグランジン: 点滴やのみ薬があります。

薬のはたらきは、子宮の出口をやわらかくします。また、強い陣痛がおこることがあります。喘息の人には使えません。



A: オキシトシン: 点滴です。子宮の出口をやわらかくするはたらきはありません。また、弱い陣痛しかおこらないこともあります。

状態にあわせてどちらかの薬が使われます。使い方のルールにあわせて薬は少しずつ使います。

เมื่อเวลาดำเนินการคลอด โดยตามธรรมชาติร่างกายจะหลั่งฮอร์โมนพรอสตาแกลนดิน (Prostaglandin) และฮอร์โมนออกซิโทซิน (Oxytocin) เพื่อกระตุ้นให้เกิดกระบวนการเจ็บท้องคลอด (มดลูกจะบีบรัดตัวมากขึ้น).

แต่ในบางกรณีแม่ไม่รู้สึกเจ็บท้องคลอดเลย หรือแม่เจ็บท้องน้อยอยู่แต่ยังไม่เกิดอาการเจ็บท้องคลอด หรือ ลูกเกิดออกมาช้าเกินไป เป็นต้น ยาเร่งคลอดจะถูกรับมาใช้ในกรณีเหล่านี้.

พรอสตาแกลนดิน (Prostaglandin) กับ ฮอร์โมนออกซิโทซิน (Oxytocin) แม่รับประทานหรือ ฉีดเข้ามาระหว่างคลอด โดยให้แม่ทานน้ำเกลือ เพื่อกระตุ้นให้รู้สึกเจ็บท้องคลอด และ ปวดแสบร้อนกว่าปกติ.

Q: ระบุแบบยาเป็นแนวใด?

A: ฆອສຕາແກລນດິນ (Prostaglandin)

ມີທັງຮູບແບບປະສົມນໍ້າສະໂລມ ແລະຢາກິນ ກິນໄກການເຮັດວຽກຂອງຢາ ຈະເຮັດໃຫ້ປາກມົດລູກຂະຫຍາຍຕົວ ແລະ ກະຕຸ້ນໃຫ້ເຈັບທ້ອງເກີດລູກແຮງຂຶ້ນເລື້ອຍໆ ແຕ່ຫ້າມໃຊ້ຢານີ້ກັບຜູ້ປ່ວຍທີ່ເປັນໂຮກຫອບຫົດ.



A: ອ້ອກຊີໂທຊິນ (Oxytocin)

ໃຫ້ຢາທາງນໍ້າສະໂລມ ບໍ່ໄດ້ອອກລົດຊ່ວຍໃຫ້ມົດລູກຂະຫຍາຍໂຕແຕ່ຈະກະຕຸ້ນໃຫ້ມີການເຈັບທ້ອງເກີດ ແຕ່ບໍ່ຮຸນແຮງຫຼາຍ.

ການໃຊ້ຢາເລັ່ງເກີດ ບໍ່ວ່າຈະເປັນຢາໂຕໃດ ຄວນເລືອກໃຊ້ໃຫ້ເໝາະສົມກັບສະຖານະການ ແລະ ວິທີການໃຊ້ຢາຄວນໃຊ້ເທື່ອລະນ້ອຍໆຂຶ້ນໄປ.



Q: どうして陣痛促進剤をつかうのですか？

A: 赤ちゃんの状態が悪くなっているときは、出産して必要な治療したほうがよいため、早く出産するために、陣痛促進剤を使います。

たとえば、陣痛がくるまえに破水したときは、感染をおこすことがあり、それによって赤ちゃんの状態が悪くなることがあります。ママが妊娠高血圧症候群（HDP）や妊娠糖尿病（GDM）などと診断されているときは、ママや赤ちゃんに悪い影響が出る可能性があります。予定日からかなりすぎてしまったのに出産にならないときは、赤ちゃんに栄養をおくる胎盤のはたらきが悪くなり、赤ちゃんの状態が悪くなったり、赤ちゃんが大きくなりすぎたりすることがあります。

また、陣痛が弱いままで強くならないときは、出産までに時間がかかり、赤ちゃんの状態が悪くなりますし、ママもとても疲れてしまいます。

Q: 陣痛促進剤の副作用は？

A: 効果は人によって違います。点滴をしても効果がでないことがあります。あまりないのですが、陣痛促進剤によって陣痛が強くなりすぎたり、子宮が破裂したりする可能性もあります。そうならないために、陣痛促進剤を使うときは、必ずルールに沿って使われています。

お母さんの状態が悪くなると、赤ちゃんも大きくなりすぎてしまいます。また、陣痛が弱くても強くならないときは、出産までに時間がかかり、赤ちゃんの状態が悪くなりますし、ママもとても疲れてしまいます。陣痛促進剤は、陣痛を強くしたり早く出産させるために使われます。ただし、陣痛促進剤には副作用があります。陣痛が強くなりすぎたり、子宮が破裂したりする可能性があります。また、赤ちゃんが大きくなりすぎたりすることがあります。また、陣痛促進剤を使うときは、必ずルールに沿って使われています。

お母さんの状態が悪くなると、赤ちゃんも大きくなりすぎてしまいます。また、陣痛が弱くても強くならないときは、出産までに時間がかかり、赤ちゃんの状態が悪くなりますし、ママもとても疲れてしまいます。陣痛促進剤は、陣痛を強くしたり早く出産させるために使われます。ただし、陣痛促進剤には副作用があります。陣痛が強くなりすぎたり、子宮が破裂したりする可能性があります。また、赤ちゃんが大きくなりすぎたりすることがあります。また、陣痛促進剤を使うときは、必ずルールに沿って使われています。



Q: 陣痛促進剤の副作用は？

A: 効果は人によって違います。

点滴をしても効果がでないことがあります。あまりないことですが、陣痛促進剤によって陣痛が強くなりすぎたり、子宮が破裂したりする可能性もあります。そうならないために、陣痛促進剤を使うときは、必ずルールに沿って使われています。

Q: 陣痛促進剤の副作用は？

A: 効果は人によって違います。点滴をしても効果がでないことがあります。あまりないことですが、陣痛促進剤によって陣痛が強くなりすぎたり、子宮が破裂したりする可能性もあります。そうならないために、陣痛促進剤を使うときは、必ずルールに沿って使われています。